

第5回「洛西ニュータウン創生推進委員会」を開催！ ～平成20年度の実行体制を協議～

平成20年度最初の「洛西ニュータウン創生推進委員会」が、5月13日(火)に洛西支所大会議室で開催されました。

昨年6月の発足以降、委員会では、洛西ニュータウンの課題に対応するため、4つの部会（環境、安心安全・子ども育成、コミュニティ、生活機能向上）を設けて、具体的な取組の検討を進めるとともに、事例見学会や「まちづくりフォーラム」の開催など、まちづくりを住民と一緒に考える活動も展開してきました。

今回の委員会では、主に、これまでの部会の活動を踏まえて、取組の実行体制についての協議が行われました。熱心な議論の結果、“部会委員を中心に、多様な活動団体等とテーマごとに連携しながら、ニュータウン全体として動かしていくための仕組み”として、プロジェクトチーム方式を採用することが確認されました。

そして、最初のプロジェクト事業については、地域の人たちがともに楽しみふれあえ、まちを持続的に活性化することができるものなどを各部会から提案のうえ、委員、部会委員全体による協議を経ながら選び、実行していくこととなりました。（※裏面「今後のまちづくりの実行体制のイメージ」参照）



◆第5回委員会で出された主な意見

- ・プロジェクト事業を実行する中で、部会間の連携、交流が進み、委員・部会委員の豊富な知識や経験を共有できることが重要である。また、様々なまちづくり情報をニュータウン全体に広げる効果も大きい。
- ・部会が専門性をもって継続的に課題を見出して提案を行い、委員会が総合的に判断し、実行は、取組の内容にもよるが、プロジェクトチーム（目的を達せば解散）が行うという役割分担を基本に、委員会の体制が明確になっていくのではないかと。
- ・プロジェクト事業は、住民一人一人が、まちを動かす主人公であるという理念を大切に、自治連合会等、各種団体の方たちに協力をお願いしながら、意欲ある人材の参加を呼びかけて進めることが必要。
- ・まずは住民が楽しく集えるもので、無理なくできるものを提案していきたい。
- ・景観やバス運行に関する課題など、住民の合意形成のプロセスが重要な取組も多い。住民に制度や課題を知ってもらうための勉強会の開催など各部会で企画して委員会に諮ってほしい。

委員の交代について

平成20年度より、ラクセーヌ商店会の平井義昌委員が退任され、新たに中川敏逸委員が就任されました。

今年度の委員会のメンバーは次のとおりです。

【洛西ニュータウン創生推進委員会名簿】

・委員

◎勝本	竹彦	新林学区自治連合会
○山田	隆義	境谷学区自治連合会
	井上 愛子	福西学区自治連合会
	杉浦 秀好	竹の里地域自治連合会
	藤本 廣志	洛西ケーブルビジョン株式会社
	中川 敏逸	ラクセーヌ商店会
	浅野 保夫	財団法人洛西ニュータウン管理公社
	水口 重忠	京都市西京区役所洛西支所長

◎ 委員長

○ 副委員長

・アドバイザー

安枝 英俊 京都大学大学院工学研究科助教